へ13
3877
3

上
緑林豪傑譚

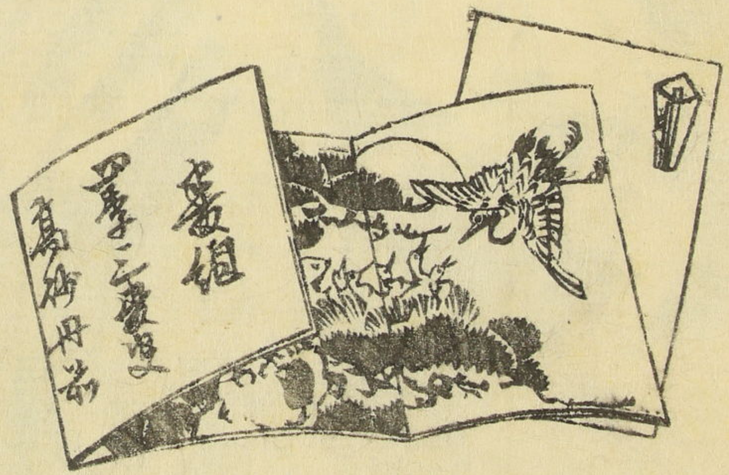
門へ13
號3877

英國近矣新紙
歌川豊國画

孫娘

豪傑揃

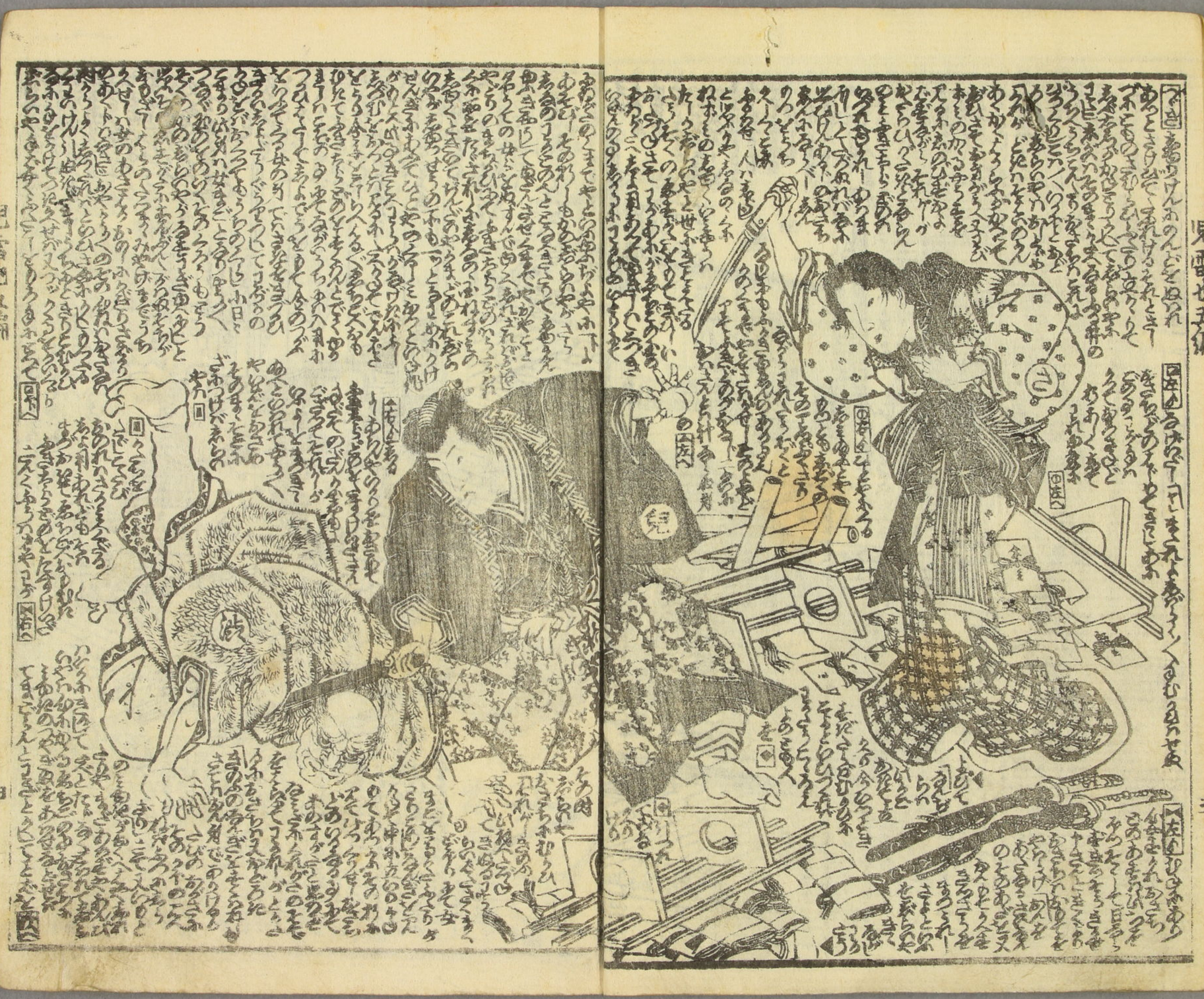
仏仏三尊
喜新利



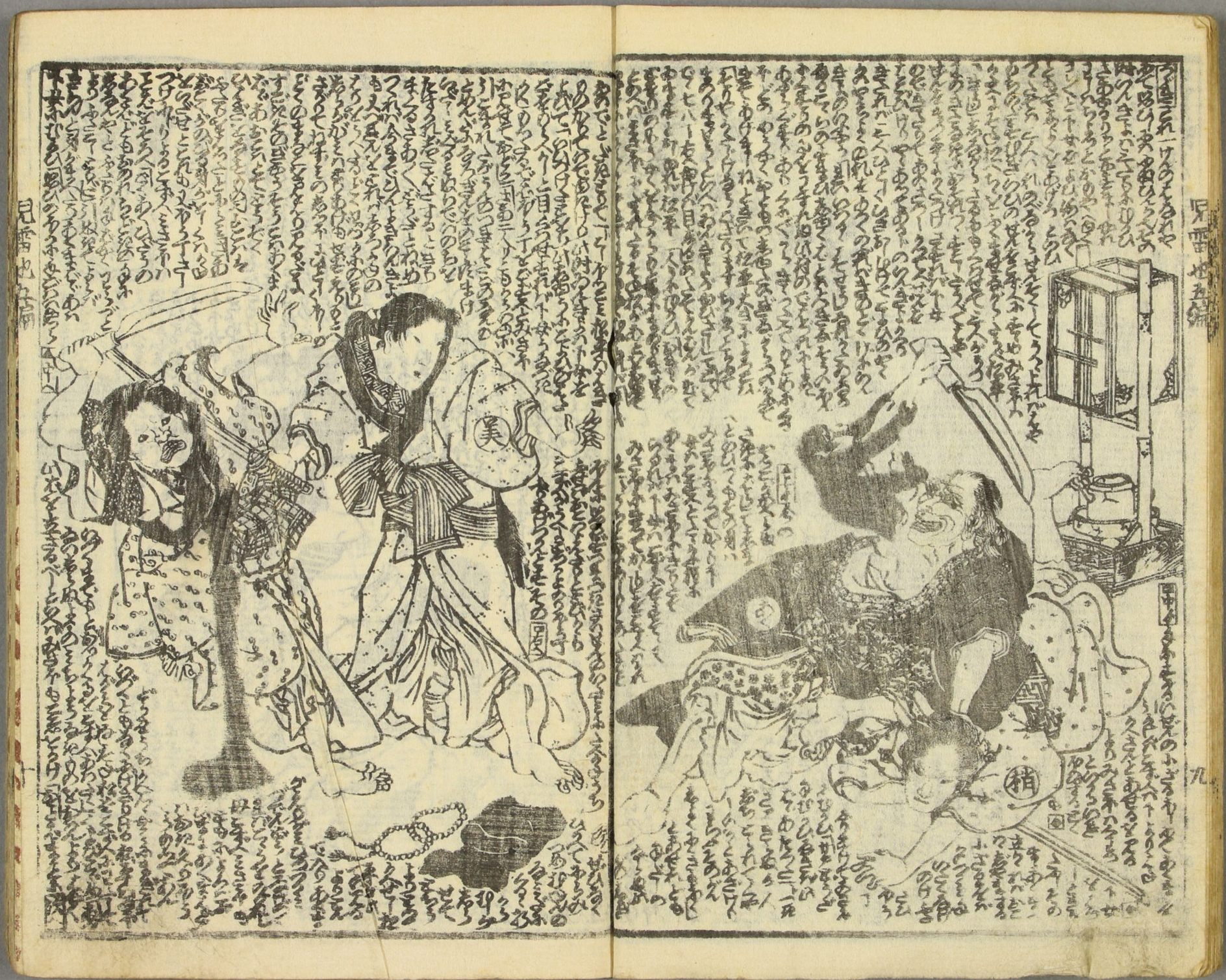
積善の家に必餘慶あり積悪の門に必餘殃あり佛經に云輪回
應報儒說に所謂汝に出て汝に返る者い是なり因有るものい必果あり
天運順環隱德のものい陽報の至貧福有ども女房なり破鍋に
綴蓋ある道理で南蛮瓜が唐茄子と天然自然の理りあれども萬
物造化の出来損ありて悪人栄て善人衰ふ薄命にして世に立ざる輩
天道さまの御際なれば釋迦さまでも諸方を是前身の因果あり後の
身にて應報あり遅迅い則天命の其理りを說曉し童蒙兒女に
勸善懲悪の一助と為さんと義圖埴生の老婆心在遺稿を其侭
亀戸の先酔に猫筆の潤色を花を飾て拙木に毒を嗣編を
依て高評を賜ぐ幸甚

作者代て楓川市隱識

見通巫　福時寶子
悪魔婆々　於張



松
梢



嘉永七甲寅新板目録

女郎花五色石臺　柳下亭種員作　六編　七編　八編
一雄齋國輝画

小女郎鉄怨麻環　曲亭馬琴作　三編　大尾
一勇齋國芳画

風俗淺間嶽　種久作　初編　二編
國貞画

今業平昔面影　仙果作　六編　七編
芳虎画

黄金水大盞盃　初編　二編　三編
爲永春水作
歌川國貞画

小栗十騎　金沢八景　照天松操月鹿毛　初編　二編　三編
春風亭柳枝作
一雄齋國輝画

地本草紙問屋　芝神明前　和泉屋市兵衛板

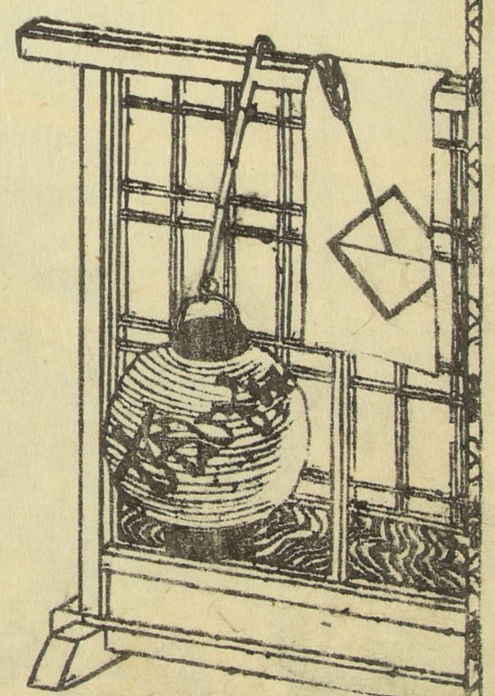
美圖垣笑顔作

二世一陽齋豊國画

下

蝦蟆妖術
大蛇怪異
緑林
豪傑譚

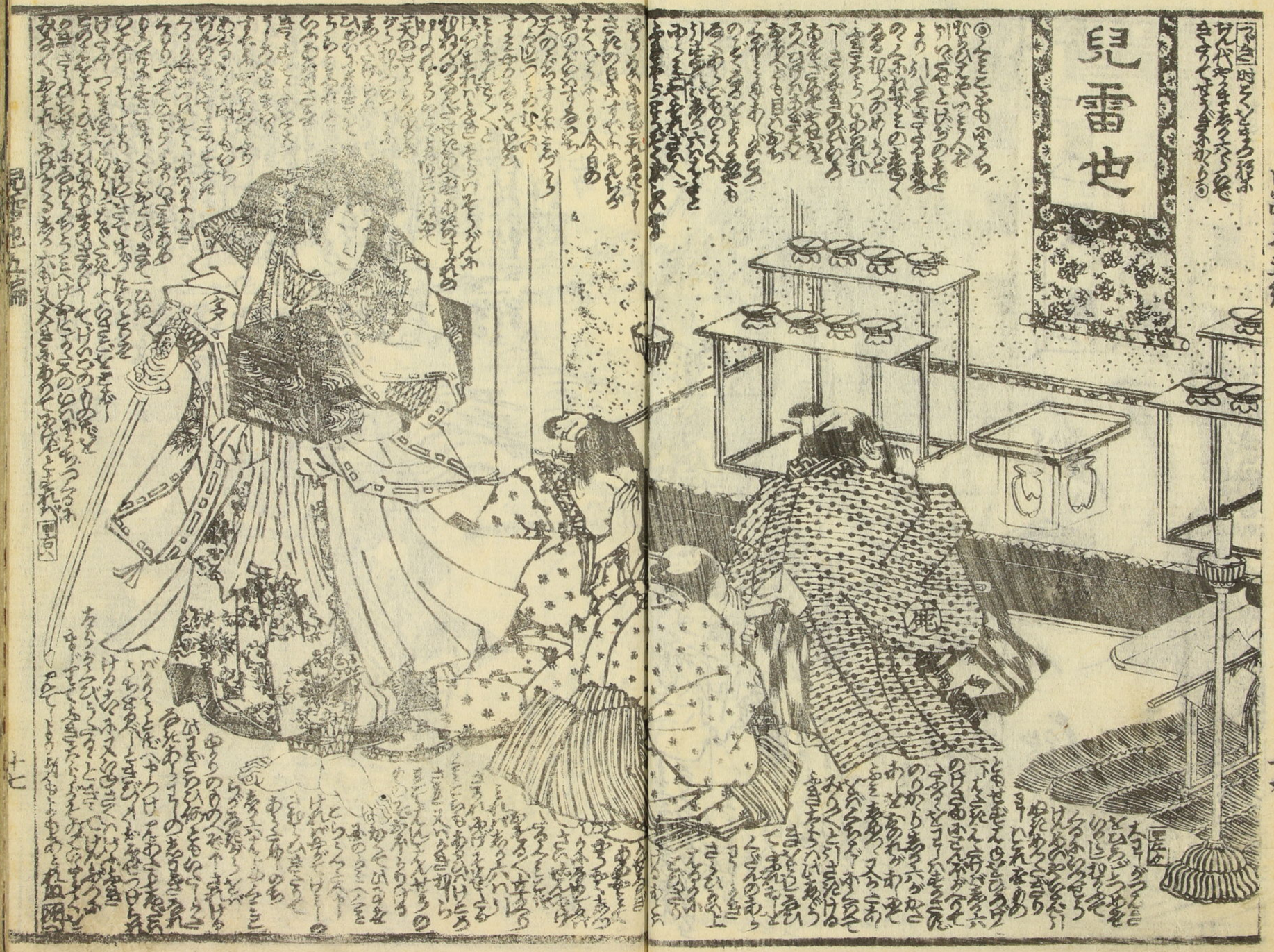
弘化三丙午春
新鐫

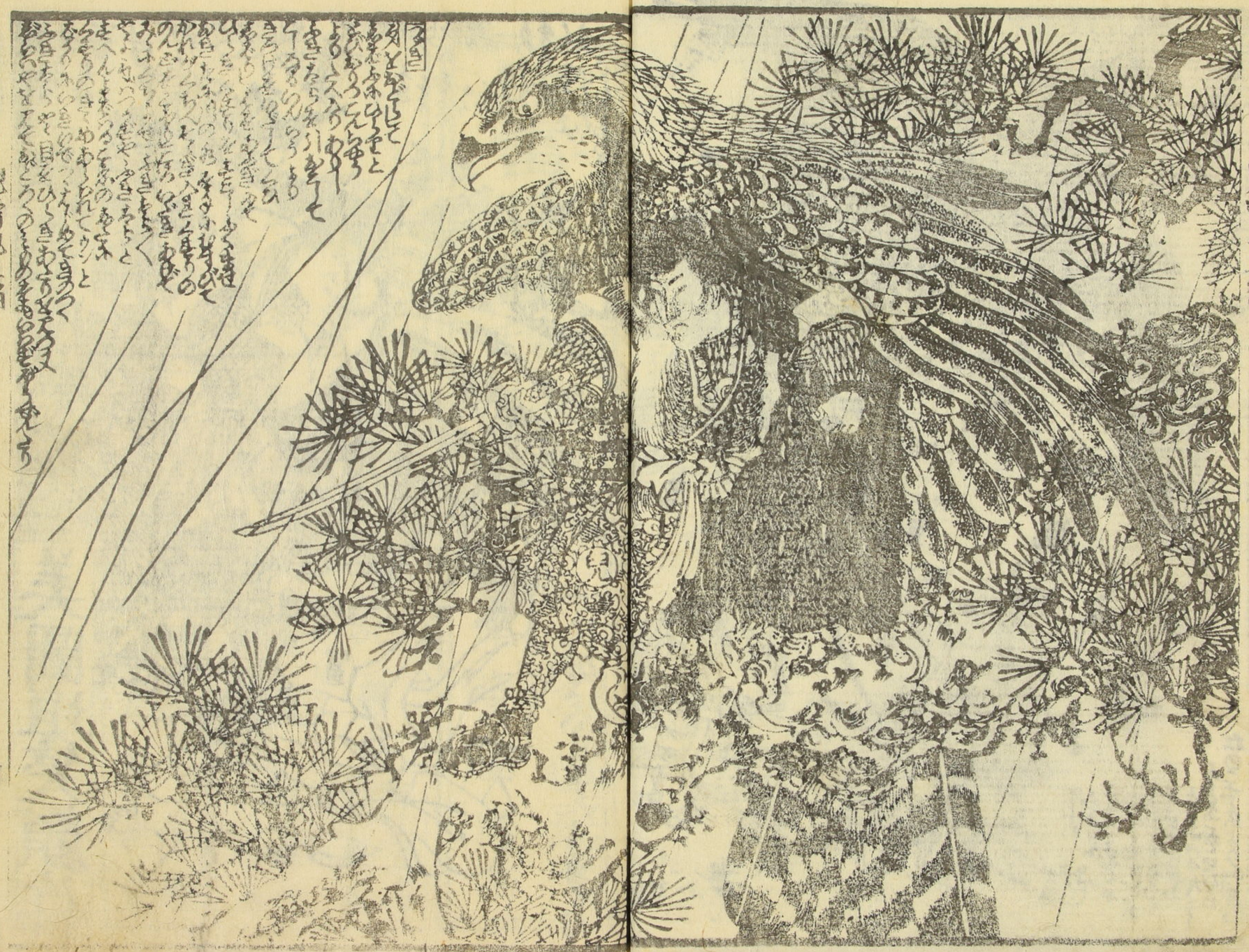


美國垣笑顔作
歌川豊國画

甘泉堂藏

兒雷也





兒雷也豪傑譚 廿四編 廿五編 廿六編 廿七編 柳下亭種員作 一雄齋國輝画

假名反古 一休草紙 五編 六編 七編 尚年未出版 柳下亭種員作 一雄齋國輝画

楠二代軍記 二編 海望亭作 芳虎画

櫻紅葉命找 一名 櫻さくら富士のぐさう 二冊 琴彦作 芳虎画

新編金瓶梅 十編 馬琴作 大尾 豊國画

地本錦繪問屋 芝神明前 甘泉堂和泉屋市兵衛板

美圖垣笑顔作

綠林豪傑譚

雷也児

上

蝦蟆妖術
大蛇怪異

絲林豪傑譚

弘化三年
丙午新版

笑顔作
豐國画

甘泉堂梓

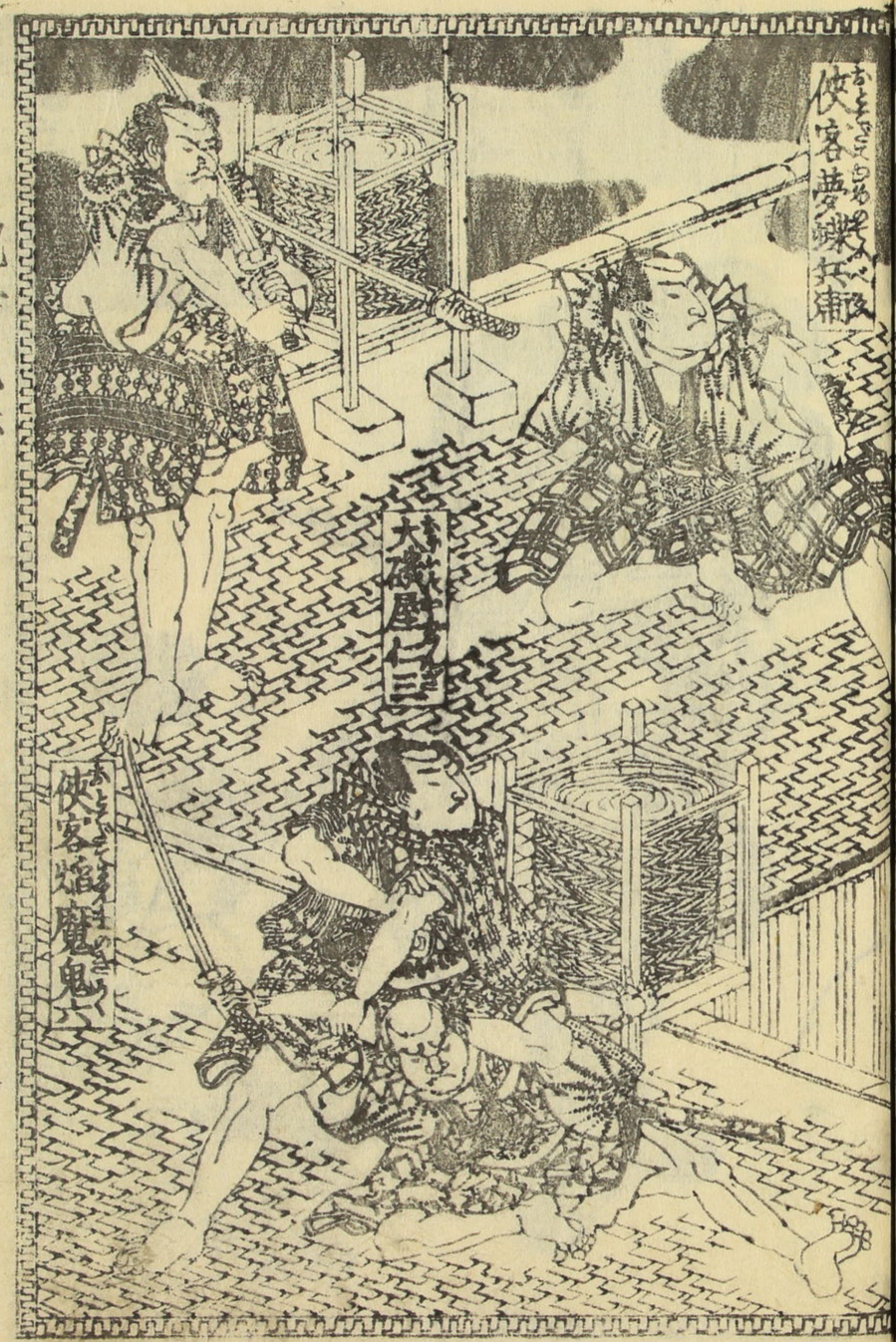
玉門人
國政画

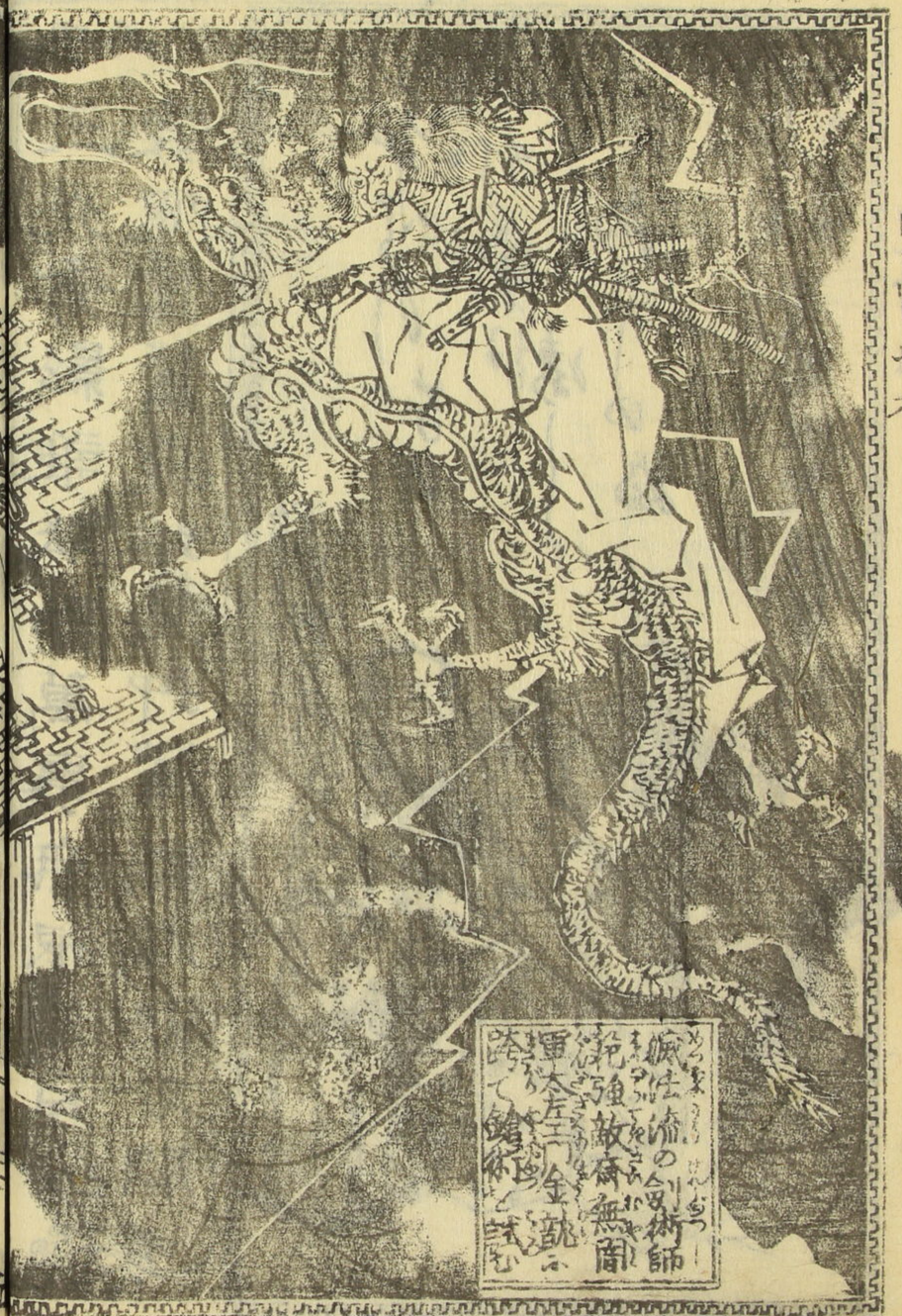
三炎斉影誰能勤萬事無根只自分
雪隱鷺鷥飛始見抑藏鸚鵡語方聞

弘化三年
丙午孟陽

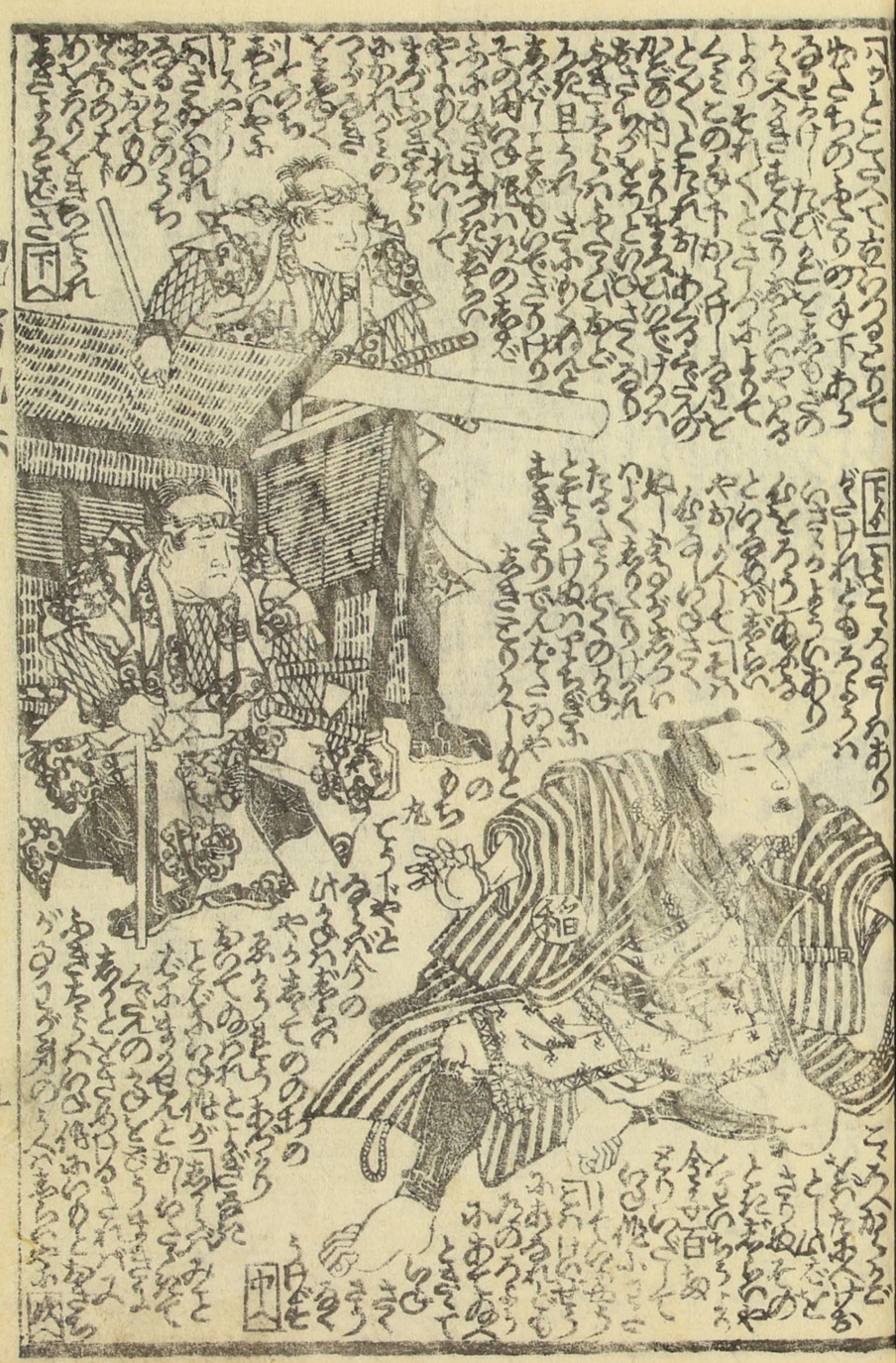
美圖坦笑顔筆記ス

下男野呂作


俠客夢殊丸
大盜屋仁三
俠客道魔鬼六


眞法流の剣術師
絶強敵高無聞
重太左衛門金蔵
槍術と試む

飴賣
世の中
於由
猿曳
松兵衛



豊國画 笑顔作

嘉永六年癸丑孟春新雕

芝神明祭

甘泉堂 和泉屋市兵衛板

假名文古

一休草紙

柳下亭種員作
一雄齋國輝画

初編八一休の親母に孝貞の名ありて五編に出家し遠山板仕立

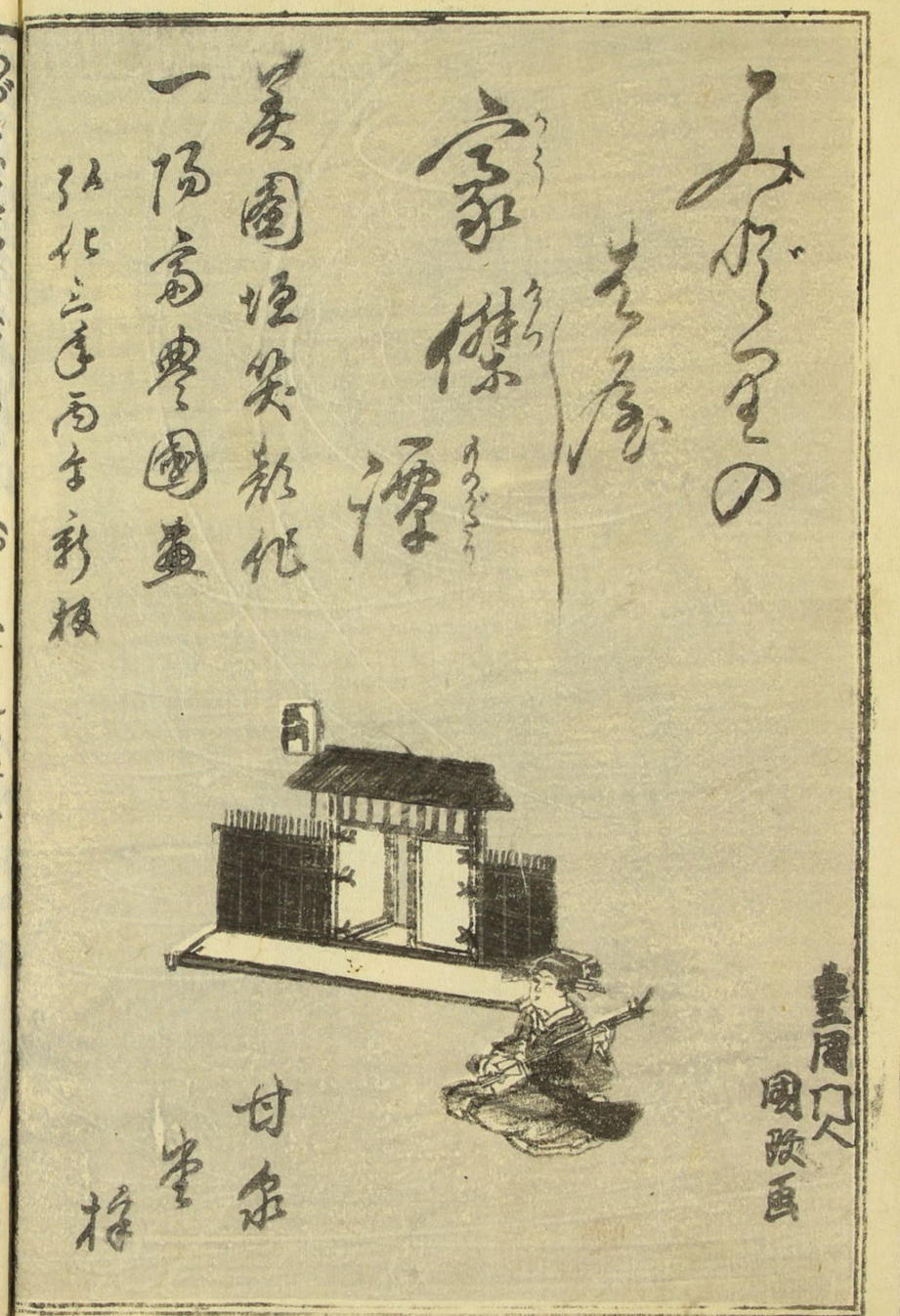
三編より五編まで書き

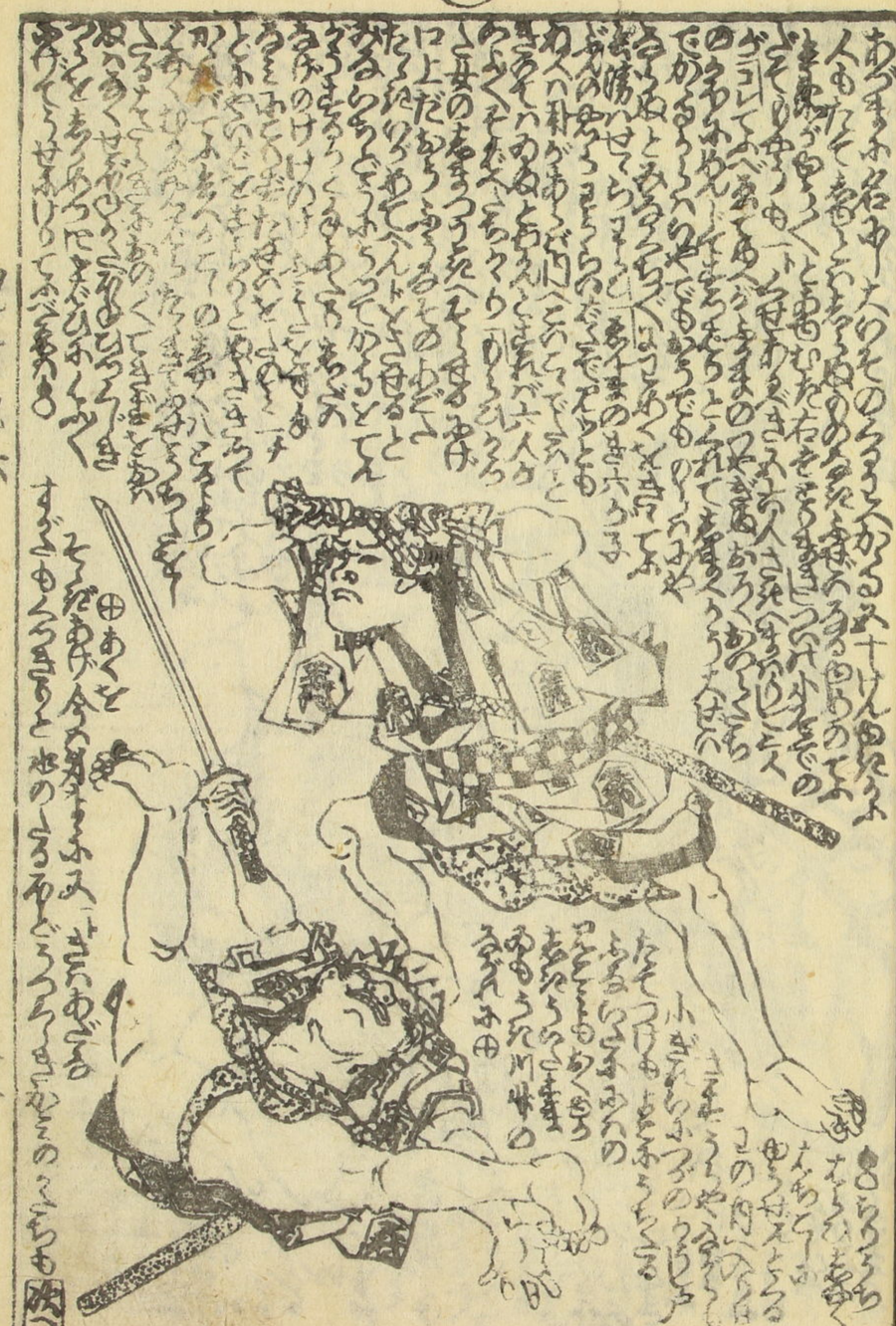
板元敬白

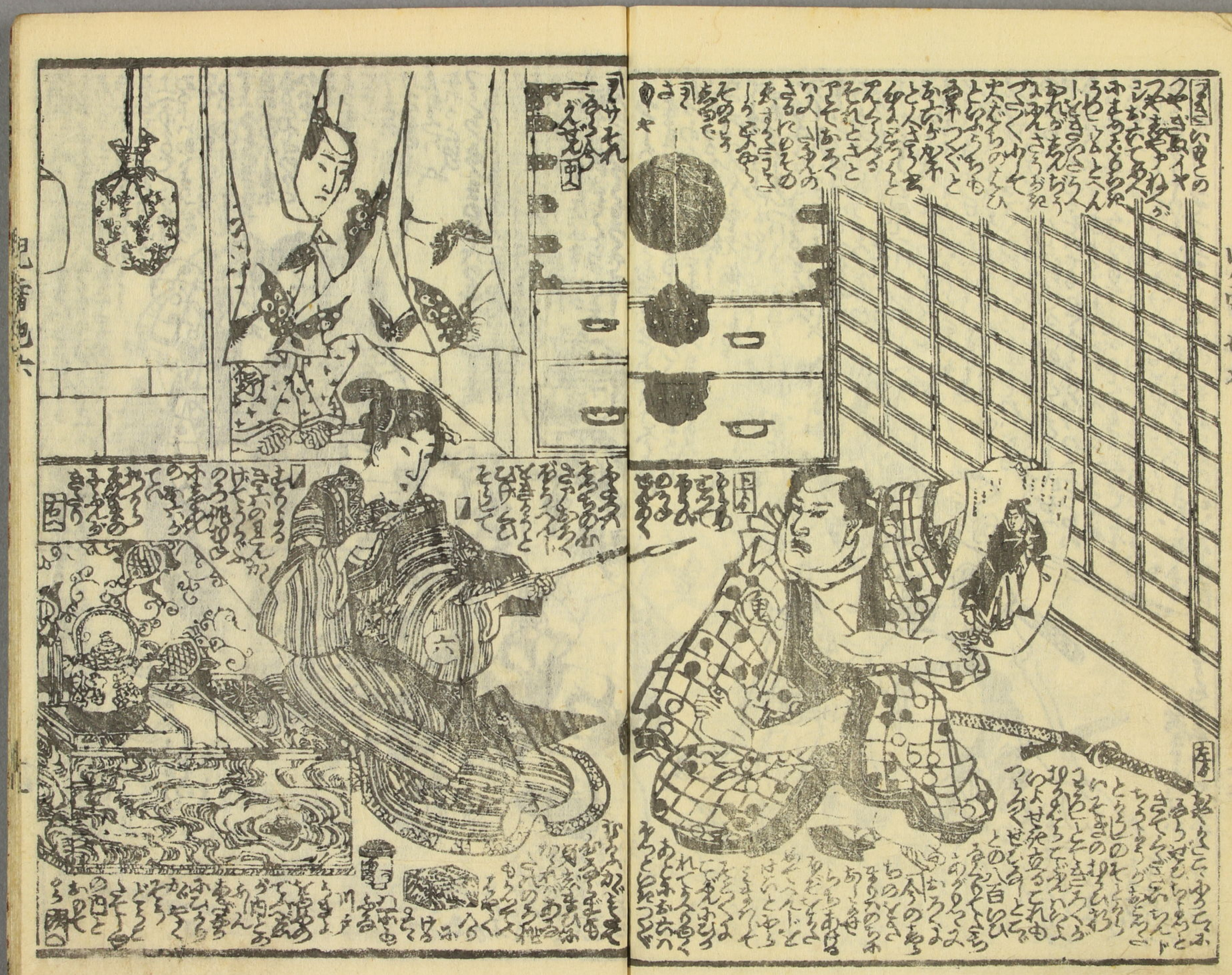
一陽齋豊國画

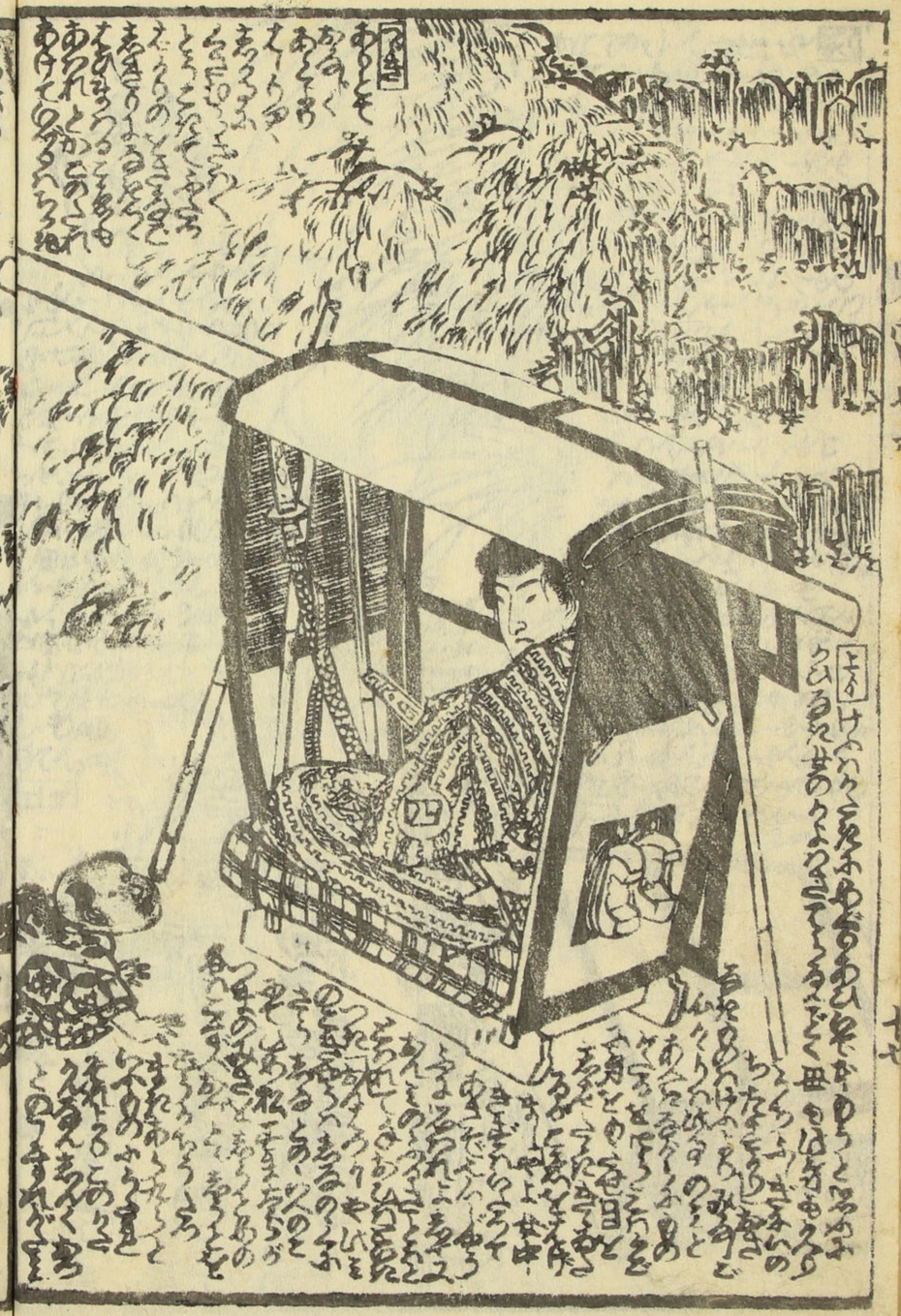
丙午新彫

下


家傑
一陽斎豊国画
甘泉堂
豊国
国政画







美圖坦笑顔作　二代目一陽齋豐國画

嘉永六年癸丑孟陬發市標目

兒雷也豪傑譚

廿一篇　柳下亭種員作
廿二篇
廿三篇　一雄齋國輝画

笠亭仙果作
今業平昔面影　六篇
一猛齋芳虎画　七篇

緑亭川柳作
祥瑞白菊物語　五篇
錦朝樓芳虎画　六篇

新編金瓶梅全輯

自初編至十編　曲亭馬琴翁作
大尾　一陽齋豐國画

書肆甘泉堂芝神明前　和泉屋市兵衛版

緣林亭傳

笑顔作
趙國璽

孔化之寿
新版

甘泉堂